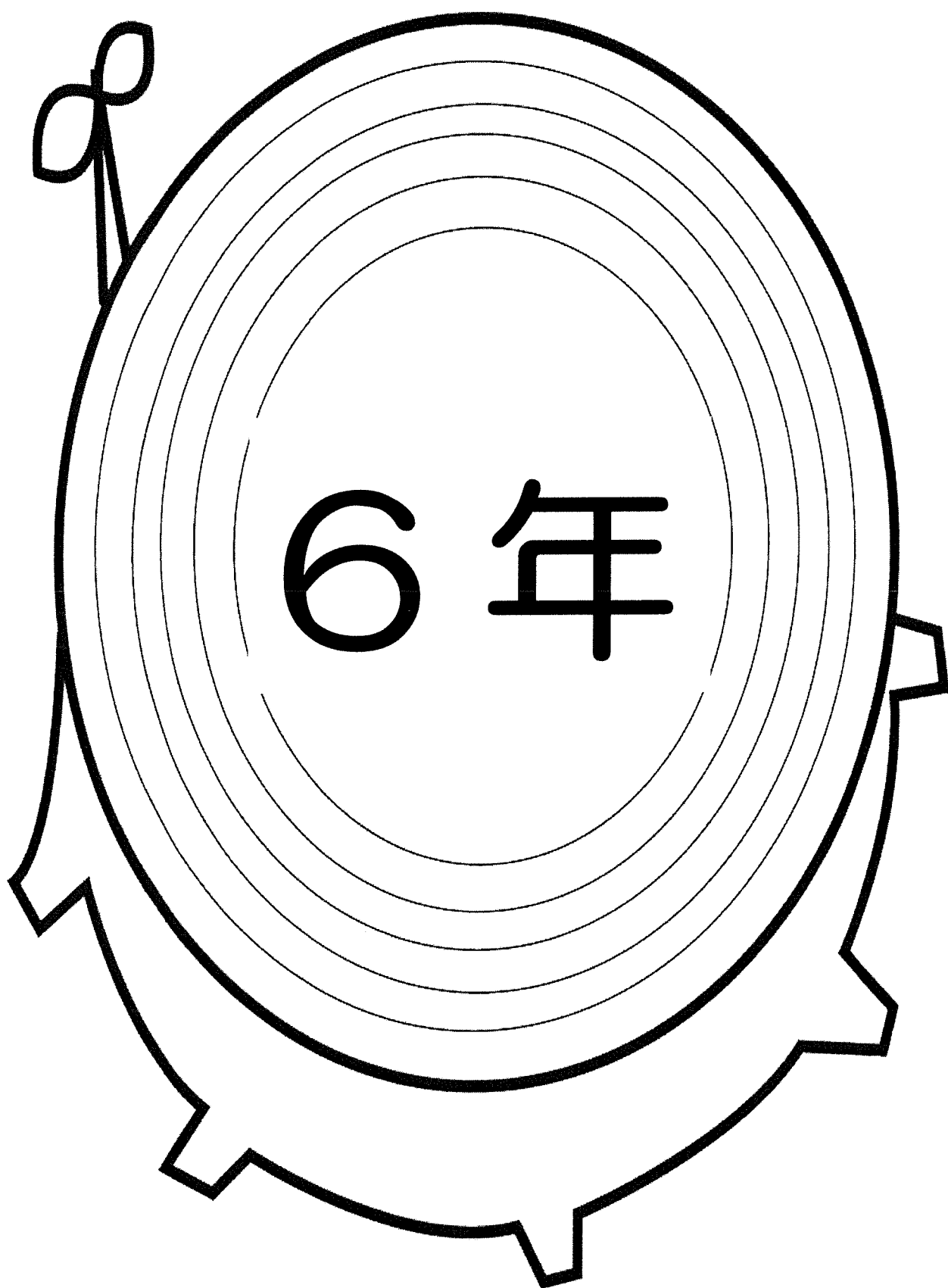




6年生 目次

6年1組 1～4ページ

6年2組 5～8ページ

6年3組 9～12ページ

6年4組 13～16ページ

六年一組

～社会分析日記より～

伊能忠敬を学習して

高 隆真

今日は忠敬についての学習だった。その中で、すごいと思ったことが三つあった。

一つめは、距離と年齢だ。なんと忠敬はおよそ三万五千キロメートル（地球一周分）も歩いたと聞いて、驚きがかくせなかった。それだけでなく、五十六歳～七十二歳までの十七年間歩いて測っていたことが分かった。聞いた時は、すごいとしか言葉が出なかった。

二つめは、測量の仕方だ。測り方では、縄や鉄のくさりなどが使われた。測量車などがよく使われたそうだが、その中で大半が歩測だったと聞いた。思わず、「えっ。」と声が出た。ほかにもっと簡単に楽な方法があったはずなのにとしか思えなかった。そして、そこから日本地図への情熱が見えた気がした。

三つめは、外国への影響だ。忠敬の地図は、外国への影響も大きかったらしい。忠敬の地図は、世界の人から見てもすごかったらしく、その地図を見た外国人たちを、「日本の技術はすごい。ちょっとあなどれない。」と警戒させたりしている。そういう意味で、日本を救ったのではないかと思った。



最後に、先生が言ったように、挑戦はいつからでもできると自分たちに教えてくれた忠敬さんは、今での一人一人の心の支えになってくれていると思った。

戦国時代を代表する人物は誰か？

吉村 怜雅

代表する人物は「織田信長」であると考える。

その理由は第一に新しいものを取り入れたことだ。信長は新しいものが大好きだった。そのために外国から多くのものを取り入れた。その一つが鉄砲（火縄銃）だ。この信長が新しい物を取り入れた結果、鉄砲戦術が生まれたのだった。さらに、当時、日本に無かったもの、つまり、新しいものを積極的に取り入れるという行動が日本の戦い方を大きく変えたと考えた。

第二に、南蛮貿易だ。なぜ、そこまで信長が南蛮貿易を重視していたかと言うと、鉄砲を撃つための黒色火薬の材料である「硝石」のためだ。当時の日本国内では生産できなかった。そのため、「硝石」を輸入に頼りきっていたので、南蛮貿易を重視せざるを得なかった。さらに、南蛮貿易はキリストの保護と関係があった。当時は、「キリスト教」の布教をみとめなくては、南蛮貿易ができなかったために保護したのだった。

第三に比叡山焼き討ちだ。そもそも比叡山延暦寺は、その影響力と絶大な力によって、政治などへの口出し、介入を繰り返していた。信長が「比叡山延暦寺」による政治介入をやめさせようとして、延暦寺を焼き討ちした。さらに、延暦寺の僧侶たちは、当時、腐敗したその有様を避難されていた。既得権益を守り、行き過ぎた金儲けを繰り返し、民衆にとっての害悪にもなっていたという説があるのだ。

第四に、樂市樂座だ。この樂市樂座の最大のメリットは、経済が活性化して、領地が発展することだ。農民や百姓が豊かになり、周辺の国から、人が移動してくるのだ。人口が増えることは、戦国大名にとって、兵力の増加と同じ事だった。さらに、周りの国の領民を奪われることが、近隣諸国の弱体化を意味した。樂市樂座の影響がとても大きかったことが分かった。

このような理由から、この時代を代表する人物は「織田信長」であると考え



鳴かぬなら
殺してしまえ
ホトトギス

国語 私たちにできること ～提案文書を書く～

「六の一 フィロソフィ 当たり前のことをする」七月十五日

池口 奈那

一 提案のきっかけ

道徳で「JALの軌跡」について学習した。JALは、昔、二兆三千億円の負債を背負っていた。そんな負債をJALは、なんと二年で返し完全に復活した。一体、なぜ、二年で負債二兆三千億円を返せたのだろうか。その方法の一つに「フィロソフィ」というのがあったそうだ。

「フィロソフィ」とは当たり前のことを当たり前にするのである。私は思った。自分たちはどうだろうか。六年生として、当たり前のことを当たり前前にできているだろうか。JALの話によると、社員同士が自分のせいではないと他の社員のせいにしていたそうだ。どんなにやさし

くて、お客さんへの対応がよくても、他の社員のせいにする。このようなことは決してやってはいけないことだ。JALの社員は、当たり前のことを忘れていたのだった。そんなJALを完全復活させたのが、「稲森和夫さん」だ。この方が、JALの社員たちを指導し、復活に導いたのだ。

稲森さんは一体どのような指導やアドバイスをしたのだろうか。稲森さんは、JALの社員たちの心が乱れていることに気付いていた。そして、当たり前のことを当たり前にすることを教えたのだった。

このことから、六年一組も「フィロソフィ」を使えば、もっとよいクラスになれるんじゃないかと考えた。

以上のことから、次のことを提案する。

二 提案

上小には、「なかよし四ヶ条」というのがある。一つめ、友だちにさ
んをつける。二つめ、かならずありがとうを言う。三つめ、よいこ
ろを見つけ合う。四つめ、おもいやりの言葉を使う。これに、五つ
め、明るいあいさつをする。六つめ、はきものをそろえる。七つめ、お
手本となる行動をするを加えて七ヶ条を提案する。

この七ヶ条は、六年生としては当たり前のことである。だが、六年一組はできているだろうか。そこで、私は、この七ヶ条に二つのことを加えてさらに提案したい。

一つめ、グループ内で、助け合い、教え合うこと。二つめ、朝、五十分までに席につけるようにすることの二つだ。

まず、一つめの理由は、グループをまとめる班長がいるが、班長は仕事が多い。そして、その班長に対してサポートが全然ない班もある。また、あまり助け合うことなく、となりの人がしゃべっているのに教える

ことではないことがあったからだ。

二つめは、朝、クラスみんなが七時五十五分までに席につけていないことが多い。それに、席についていたとしても無言ができていないことがあった。この二つを加えて、「六年一組フィロソフィ九ヶ条」が実行できれば、自分の運も高められるし、クラス全体がよくなり、さらにまとまると考えた。

三 まとめ

この「六の一フィロソフィ九ヶ条」を実行したら、クラス全体、学校全体がよくなり、毎日の学校生活が変わるかもしれない。また、「六の一フィロソフィ九ヶ条」を実行すれば、たくさんの人とふれあうことができる。そうすれば、その人たちとの信頼関係も深められると思う。そんな経験を重ねることで、自分の人生も変わるかもしれない。やはり、あたり前のことをあたり前にすることは大切だと考えた。

国語 「やまなし」分析日記(まとめ作文)より

高津 琴羽

私は、「やまなし」を学習して、宮沢賢治が何を伝えたかったかを考えた。それは、「命の喜びと死の悲しみ、また、それはずっと続いていくこと」ではないかと思った。

そう考えた理由が三つある。

一つめは、食物連鎖が表されているところだ。五月の出来事で、かわせみが魚を食べるというものがあつた。また、確定できないが、クラムボンが魚に殺された(食べられた)という予想が当たっていたら、そこにも食物連鎖の関係がある。かにたちは、死んだクラムボンの話をして

はないかと思った。

二つめは、やまなしが流れて来たところだ。そのシーンでは、かにたちが流れていくやまなしを追うという描写がされていた。そのときのかにたちは、とても喜んでた。そこで、生命の喜びを表現したと考えた。また、この物語は、かにたちが出す「泡」についてたくさん触れられていた。息というのは、生きているものしかできない。そこで、「自分の命」があることの大切さを伝えているのかなと思った。

三つめは、十二月にはやまなしが出てきたように、五月になれば、また、山桜や魚たちが出てくるだろう。そこから、命のループを表していると考えた。

この三つのことから、私は、やまなしを通して、作者が伝えたかったことを、「命の喜びと死の悲しみ」「命はつながっていく」ということだと考えた。

日記より

まあいいか。

志野崎 海羽

今日の先生の話を聞いて心に残ったことは、「まあいいか。」と「魔あゝいいか。」の区別をつけることです。これは、「言葉」というもので、「まあいいか。」は、幸せになったり、運よくするということ意味です。

逆に、「魔あゝいいか。」は、物事がうまく進まず、不幸な時に出てくる言葉だと考えました。

そこで、私は、この二つの言葉をどのように使っているかを振り返りました。

思い出してみると、「魔あゝいいか。」を使っている方が多かったことに気が付きました。「宿題が終わってないけど、魔あゝいいか。」と使っている事がたくさんあります。

「まあゝいいか。」の方は、「今日もちよっとだけ、いじわるなと言われたけど、まあゝいいか。」というふうには、いぢぢはうまく使えていることが分かりました。

このことをふまえて、一学期の目標を立てました。それは、相手も自分も気持ちよくなる言葉遣いをすることです。そして、「まあゝいいか。」と「魔あゝいいか。」を使い分けて、これからの学校生活に生かしていきたいと思います。

先生の話聞いて

塩見 木乃花

先生の話聞いての感想です。今日の話は、言葉の力についてでした。言葉は時には人を喜ばせ、時には傷付ける力があります。

また、悪い行いをする人は、「魔あゝいいか。」を使います。ちょっとした気の緩みのせいで、事故を起こしたり、周りに迷惑をかけたります。時には人を傷付けてしまいます。

一方、「まあゝいいか。」は、運をよくすることもあります。ちょっとした出来事などがあっても、すぐに立ち直れるようになることで、自身の心の整理ができ、どんなことでもあきらめない人になれると分かりました。私もそういう人になろうと決意しました。そして、どんどん運をよくする人が増えるといいと思いました。

そして、これからどうやって、自分を成長させていけばいいか目標を立ててみました。目標「嫌なことや恥ずかしいことがあっても、すぐに

立ち直れる人になる。」最初は、クラスの中から始めていきたいです。発表で失敗した時など、落ち込んだり、恥ずかしがったりせずに、「まあゝいいか。」と考えて、失敗は成功のもとと自分に言い聞かせて何度も発表に挑戦していきたいです。

道徳感想より

おじいちゃんの約束

田中 蒼乃

私が心に残ったことは、おじいちゃんの言った言葉です。「自分は自分らしく、精いっぱい生きれば、だれにもはじめることはない。」という言葉が特に心に残りました。この言葉の意味は、だれかのまねをすることやこう生きなさいということではなく、自分のやりたいことを見つけ、自分らしく、精いっぱい生きればいいということかなと思います。

私は、この話を聞いて、自分のやりたいことや夢を見つけて、だれかのようにという考えではなく、自分の好きなことややりたいことに精いっぱい取り組んで、自分らしく生きたいと思いました。

また、「死ぬ」などの悪い言葉は、本当の意味をしっかりと考えていきたいです。この「おじいちゃんの約束」で学んだ考え方を、自分に自信がなくなった時や落ち込んでいる時に思い出したいです。もし、周りにそういう人がいたら、信二のおじいちゃんみたいに言葉をかけて励ましてあげたいです。これから、どんなにつらいことがあっても、自分らしく、精いっぱい生きることが大事なことで忘れずに、自分の命を大切にしていきたいです。

六年二組

三学期の目標

榎田 美如

今日から三学期が始まります。私たち六年生にとって、小学校生活も残りわずかとなりました。そこで、卒業までにやり遂げたい目標を二つ発表します。

一つは、パソコンのキーボード入力スピードを速くすることです。都城市は、昨年の四月から、自分用のパソコン・タブレットを使って学習ができるようになりました。これで、授業がはかどった一方で、今までほとんど使ったことがなかったので、キーボードでローマ字を使って文字を打つことに、みんなとても苦戦しました。しかし、友達の中には、キーボードを見ないで、ものすごいスピードで入力できる人もいます。私も、中学校に入学するまでには、もっと速く入力できるようになりたいと思います。

もう一つは、思い出をたくさんつくることです。中学生まで、残り五十一日となりました。小学校生活も、もうすぐ終わろうとしています。私は、残りわずかな中で、この目標を一番大切にしたいと思っています。新しいことにチャレンジしてみたり、男女関係なく遊んだり、笑ったり、泣いたり、時にはケンカをしたり。でもまた仲直りをして、いっそう絆を深めたりして、たくさんの思い出をつくらうと思います。

六年間、毎日背負ったランドセルとも、たくさんの思い出が詰まった上長飯小とも、そして、先生方ともあと五十一日でお別れです。これまでお世話になったものの全てに、そして、家族に感謝を忘れず、くいのないように日々を過ごし、笑顔で卒業したいと思います。

修学旅行の思い出



園田 功歩

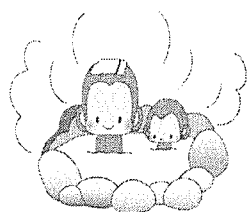
いつも、あたりまえのようにいる親だけど、いなくなると親の大切さがとてもわかり、いい修学旅行になりました。あたりまえにあると思っていたけれど、あたりまえじゃないことに気づかされました。これからもあたりまえに感謝したいと思いました。

修学旅行の思い出



畑中 一花

お風呂が長い！。お風呂の順番を決めるとき、「何番目でもいいよ」と言った自分がにこらしいです。わたしの前に三人いたので、待ち時間がとっても長かったです。自由時間も、あと一時間くらい。やっとわたしの番！。お風呂がとても気持ちよかったです。



修学旅行の思い出

川野 絆生

ヤギにえさをやったとき、一頭にあげすぎて、えさをめぐってケンカしていました。食い意地がとても強いんだなあと思いました。

運動会に向けて

井植 彩維

わたしが、予行練習で最上級生として思ったことは、下級生は六年生の手助けがないと、分らないことだらけということです。わたしたち六年生がテキパキと動かないといけないと思いました。だから、わたしは、テキパキと動こうと思います。

運動会に向けて

青木 結音

わたしが最上級生として思ったことは、児童管理の係として下級生の世話をがんばることと、団長やリーダーと一緒に応援を盛り上げたいということです。全校リレーは予行練習では一位がとれましたが、気を抜かずに、本番でも一位がとれるようにがんばりたいです。

運動会に向けて

天神原 葵

わたしは、予行練習を通して、「もっとすばやく行動したいな。」と思いました。今年は、役員や低学年のお手本になることなど、たくさん役割があります。だから、最上級生として、「すばやく行動する」を目標として、がんばりたいと思います。

運動会に向けて

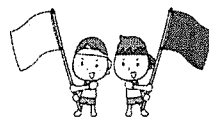
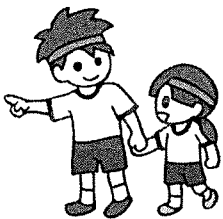
満行 華琳

金曜日の予行練習では、青団と一点差で赤団が優勝しました。うれしすぎて飛びそうでしたが、ベストリーダー賞の点数を聞いてビックリしました。四団中、三位という結果で最悪でした。穴があったら今すぐにでも入りたいレベルです。わたし自身、不注意な点があったので、そこは、しっかり本番に向けて直していこうと思いました。本番ではW優勝を目指して団長、リーダー、赤団のみんなががんばります。

最後の運動会を終えて

宮越 凜

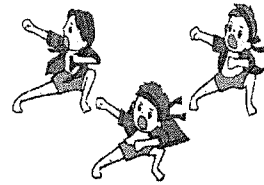
「これで運動会最後かあ。」
というぐらい最高の運動会の思い出ができた。小学校最後で優勝



は出来なかったけど、最後までみんな一生懸命に、走りし、そして、ソーラン節に真剣に取り組んでいることが伝わってきた。

運動会は終わったが、最上級生としての期間は、まだまだあるの
で、これからもがんばりたいと思う。

上長飯小最後の運動会



吉留 鳳将

最後の運動会を終えて思ったことは、みんな、最後まであきらめ
ずに走ったり、パワーを出し切っておどったり、クラス代表のリレ
ーの人達が必死でバトンをつないだりして、全力でがんばっていた
ということだ。優勝やバストリーダーは取れなかったけど、みんな
の真剣な顔が見られたので、団長として悔いのない運動会になっ
た。

座右の銘にしたい言葉



藤本 留奈

わたしが、座右の銘にしたい言葉は、『なぜば成る、為さねば成ら
ぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』です。これは、江戸時代
の大名だった上杉鷹山が、家臣に示した歌の一部です。

わたしがこの言葉を選んだのは、できそうもないどんなことであ
っても、強い意志をもってやり通せば、必ず実現できるという言葉

のように、あきらめないで続けることができるようになりたいと思
うからです。

わたしは、下級生の時、鉄棒が苦手で、途中であきらめてしまっ
たことがありました。でも、あとからくやしくなり、友達と一緒に
あきらめずに練習を続けて、できるようになりました。

上杉鷹山は、江戸時代の米沢藩という今の山形県の藩主ですが、
何と生まれは宮崎県の高鍋藩の秋月一族の出身です。危機におちい
っていた藩の財政を立てなおすために、数々の取り組みを行い、見
事に立ちなおすことに成功したのです。わたしも上杉鷹山のように、
初めからあきらめるのではなく、必ずできると信じて行動するよう
になりたいです。

『なぜば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬ成な
けり』を、これからも座右の銘にしていきます。

継続は力なり



寺原 虎珀

ほくが座右の銘にしたい言葉は、『継続は力なり』です。この言葉
は、どんなことでも継続していくことが、成功するための要因で、
コツコツと努力を続けていけば、いつか必ず目標は達成できるとい
う意味の言葉です。

ほくには、この言葉に結びつく経験があります。運動会の走のこ
とです。今まで、いつも後ろの方でゴールしていました。それが、
とてもくやしくて、家で走る練習を毎日したり、少しでも速く走れ

るようにコツを聞いたり、ネットの動画で調べたりして、毎日、練習を続けてきました。そして、運動会当日、少しでも順位を上げることができました。毎日がんばって、本当によかったと思いました。

これからも、『継続は力なり』という言葉を座右の銘として、何事もあきらめずにがんばりたいと思います。

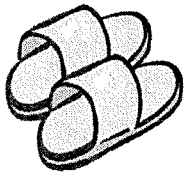
みんなのためにできること

黒木 俊之介



ぼくが、みんなのためにできることは、『ゴミを拾ったり、トイレのスリッパを並べたりすることだと思っています。』『ゴミがあったら拾う。』『スリッパが並んでいなかったら並べる。』、この二つを自分の中で、あたりまえにできる人になりたいです。

みんなが見ていないところでも、しっかりと心がけて、少しでも自分が成長できるようにしたいです。



小学校最後の調理

清水 太陽

小学校最後の調理で、まず、包丁の持ち方が上手くなりました。

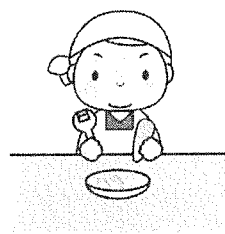


ぼくたちの班は、みじん切りが多くて大変だったけど、とても細く切ることができました。でも、炒めると、ほとんど形がありませんでした。

みんなで役割を分担し、協力しながら、おいしい野菜炒めができました。でも、ぼくは、ジャガイモの皮をむくのに、時間がかかってしまったので、もう少し速くむけるようにしたいです。この経験を生かして、家の手伝いにもチャレンジしたいです。

冬休みのめあて

川崎 一奈



冬休みに、できるようにになりたいことが二つあります。

一つ目は、野菜を食べられるようにしたいということです。周りにいる人がほとんどサラダが好きな人ばかりなので、負けたくないの、がんばりたいと思いました。

もう一つは、字をきれいに書くということです。わたしは、全然、自分で気に入る文字が書けないので、少しでも上手になれるようになります。

この二つを冬休み中にできるようにしたいと思う。

六年三組

挑戦する大切さが分かった時

中野 聖悟

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「馬には乗ってみよ人には添ってみよ」です。これは、何ごとも経験してみなければ、本当のことは分からないという意味の、昔からの言い伝えです。

ぼくがこの言葉を選んだのは、何ごとも経験は大切だと思ったからです。ぼくは、二年生の時、お母さんにすすめられて水泳を始めました。だけど始める前は、「水泳って、楽しくなさそう。」とか「泳ぐのめんどくさそう。」と思っていました。だけとお母さんに、

「体験だけでもしてみよ。」

と言われたので、実際に体験してみました。そうしたら、とっても楽しくて気持ち良かったです。この時までのぼくは、最初から判断して結局何もしないままでいました。なぜならぼくには、試していないのに「これって、ぼくにできるのかなあ。」とか「めんどくさそう。」など、やろうとする気持ちがありませんでした。だからです。だけど、この水泳の出来事で、やっぱり何ごとも



経験は大事だと思いました。

その後、「馬には乗ってみよ人には添ってみよ」という言葉に出会いました。ぼくが経験を積んだり、試したりしないのは、やる前から判断していたからです。もし試すなどしていれば、仮に自分に合わなかったことでも、別のことに取り組む時に、経験したことをもとに自分に自信がもてるかもしれません。だからぼくも、この言葉のように、何ごとも試していけば、もしかしたら、自分に合ったことが見付けられるかもしれません。

この先、中学校に行っても、経験を大切にしていきたいです。「馬には乗ってみよ人には添ってみよ。」を、これからの座右の銘にしたいです。

座右の銘

豊饒 稟紗

私が座右の銘にしたい言葉は、「できない理由を探すな」だ。これは、インターネットで調べて出てきた、工藤時子さんの言葉だ。私がこの言葉を選んだ理由は、できないことに理由を探していた情けない自分を変えたかったからだ。

習い事や料理などをする時に失敗して、人のせいや「どうせできない。」と何だかんだの理由を付けてあきらめていた。でも、私の周りには、怒られても切りかえて、次に明るく進んでいる人たちがいる。それができなかった私は、できない理由を探して、他人をうらやましがっていた。だけど「できない理由を探すな」という前向きな言葉に出会った時に、できない理由を探して気分を下げてはいけない、逆に、できる理由を探していかないといけないと思った。いつまでも下を向いていてもいいことなんて一つもないし、楽しいこともなくなる。だから上を向いて、できないことを人のせいにして自分は逃げるという考えをなくしたい。周りには、みんなのようにできなくても、努力して顔に出さずに笑顔でいる人もいる。あきらめなかったら、自分も同じようになれると思った。

工藤時子さんの「できない理由を探すな」という言葉は自分に重くひびいた。今の逃げている自分を未来まで続けて、悪い自分をみんなに見せるのは、絶対に嫌だ。だから、そうなりそうになった時こそ明るく、つらい時も元気にしていきたい。そのためには、努力してがんばって、いやで、苦しくなってやめたくなりそうでも、逃げ出しそうな時、「できない理由を探すな」を座右の銘にしたい。

あきらめない大切さが分かった時

木田 暖人

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「終わりを良ければすべてよし」だ。これは昔からの言い伝えで、途中で失敗しても最後がきちんとしていればそれでいい、という意味の言葉だ。

ぼくがこの言葉を選んだ理由は、途中であきらめることが多いからだ。運動会の時、ソーラン節をおどる腰の位置が高いと言われて、少し残念に思っていた。他の大体の人たちは、言われた通りにできていたので、すごいと思った。いつもだったら、ぼくはそこであきらめるところだった。しかし、そこで、この言葉「終わりを良ければすべてよし」を思い出した。この言葉を思い出してから、できなかったからと途中でやめることが少なくなった。振り返ってみると、大体、振り付けを覚えただけで満足している所があった。しかしこの言葉通り、最後までやってみると、うまくいった。最初がだめでも、後半きちんとしていけば、それでいいということであらためて実感した。そして、今まで途中であきらめていた時に、最後までがんばればよかったと後悔した。

ぼくは、前みたいにあきらめていた自分ではなく、ソーラン節の時のように前向きにあきらめず、「終わりを良ければすべてよし」という言葉を大切にしたいと思う。そしてこれから先、中学校に行っても、あきらめないことを大切にしたいと思う。

「終わりを良ければすべてよし」これをこれからの座右の銘にしたい。

私の座右の銘

久壽米木 希実

私が座右の銘にしたい言葉は、「努力は実を結ぶ」です。これは、努力しただけの十分な結果が生まれるという意味で、昔から伝えられてきた言葉です。

私がこの言葉を選んだ理由は、初めて「努力は実を結ぶ」という言葉を

聞いた時、すごく「がんばろう」というやる気が出てきたからです。そのため、この言葉を座右の銘にしました。

ある時、担任の先生と習い事の先生から、こんなことを言われました。「がんばっていたら、努力は実を結ぶから、これからがんばってね。」その言葉が、私の心にすくひびきました。私は、宿題のことで追いつめられた時にはいつも「努力は実を結ぶ」という言葉を思い出してやる気を出しています。学校の宿題や習い事の宿題が多くてあきらめかけそうになった時、いつもこの言葉が、私の心の支えになっています。

私は「努力は実を結ぶ」という言葉に出会って良かったなと思いました。一つ目は、できなかったことにも挑戦できるようになったことです。できなかったことを努力してやることで、少しずつ出来るようになってきました。二つ目は、努力をすることの大切さを知ったことです。努力をしてむだなことは絶対にならないので、これからも新しいことにたくさん挑戦したいです。

中学校に行っても、努力を続け、これからも「努力は実を結ぶ」を座右の銘にしていきたいです。

大切にしたい座右の銘

立和名 小雪

私が座右の銘にしたい言葉は、「失敗？これはうまくいかないということを確認した成功だよ」です。これは、タブレットでいろいろな言葉を調べ、その中で選んだ、アメリカの発明家・起業家のトーマス・エジソンの言葉です。これは、失敗は悪いことではなく、成功に近づくための大きな一歩だということです。「失敗は成功のもと」と同じような言葉で、私はこれを座右の銘に選びました。

この座右の銘に結びつく経験があります。図工の授業で工作をする時に、自分のイメージ通りいなくて、失敗したことが何回かあります。でも、失敗ばかりするのではなく、その失敗したことを何度もすることで、成功したこともありました。

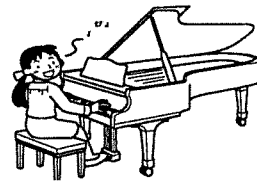
他にも、体育の時にマット運動で後転をするのが少し怖くてできなかったことがあります。それがとてもくやしかったので、家で何回も練習したることができるようになりました。そこでやはり、失敗はいけないことではないんだと実感しました。

習っているピアノでも、何回も音程を間違えてひいてしまう時があります。でも先生が、

「練習の時に、百点満点で発表会にのぞんだら、九十点以上のレベルの演奏をすることができますよ。」

と言っていました。確かに練習をすればする程、上達します。だから音程を間違えて失敗したと思った時でも、それは良いことだと思って、成功につなげたいです。

今後、座右の銘を大切にしながら、中学生になっても、どんなことでもめげずに、成しとげていきます。できなくてもそこでやめるのではなく、なしとげられなかったことを何回も繰り返し、なしとげられるよう努力しようと思います。



座右の銘

私が座右の銘にしたい言葉は、「何事」ことも全力で取り組むこと」だ。これは、タブレットを使って調べた、昔からいわれている言葉だ。

私がこの言葉を選んだのは、苦手なことも全力で取り組みたいと思ったからだ。私は、苦手なことが出てきたら、全力で取り組もうとしなくなることもある。授業中も、算数などで自分が分からない問題があったら、止まっていたり、あきらめてしまったりすることがあった。クラスの人々を見ていると、何「こ」も全力で取り組んでいる人たちがいて、すごいと思った。私も、その人たちのように、全力で取り組んだら、テストで、とてもいい点数が取れた。全力で取り組んだ結果が、テストに出たのだらう。

私も、苦手なことが出てきたらそこであきらめるのではなく、全力で取り組みたい人になりたいと思う。中学校に行っても、全力でいどめる人にな

りたい。「何事」ことも全力で取り組む」これを、これからの座右の銘にしたい。

自分を変える座右の銘

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「だれもが才能を持っている。でも、能力を得るには努力が必要だ。」だ。これは、バスケットボールの選手マイケル・ジョーダンさんの言葉である。

ぼくが、この言葉を選んだのは、自分には才能がないと思っていたからだ。四年生のころからバレーをしていて、四年生で初めて試合に出た時に、ぼくはミスばかりしてしまった。試合が終わってから、「どうして上手にできないんだらう。」と悲しい気持ちになった。同じチームの人は上手にプレーしていた。ぼくも、チームメイトのようにプレーできたらよかったのにと、くやしかった。ぼくにはどこか、「このくらいでいいかな。」と満足してしまうところがある。思い出してみると、練習もやり終わったところで満足して、家では全く自主練習をしていなかった。でも、チームメイトを外で見かけた時に、とてもがんばっていた。だから、チームメイトが試合で力を出せたのは、努力をしていたからだろうと思った。自主練習もせずに、チームメイトをうらやましく思った自分が、もっとくやしかった。だからぼくは、チームメイトのように上手になるために、毎日コツコツと練習をして、どんどん自主練習の量も増やしていった。

ぼくは、中学校に行っても、マイケル・ジョーダンさんやチームメイトのように、努力を大切にしたいと思う。「だれもが才能を持っている。でも、能力を得るには努力が必要だ。」これを、これからの座右の銘にした

ぼくの心を動かした座右の銘

池畑 奏翔

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「継続は力なり」です。この言葉は、宗教家の住岡夜晃さんが書いた賛嘆の歌上巻の一部で使われた言葉です。この言葉には、どんなことでも継続し、続けていくことが成功の重要な要因だという意味があります。

ぼくが、この言葉を選んだのは、この「継続は力なり」という言葉にすごく共感したからです。ある日、スイミングのテストをする事になりました。今の級を合格すれば、一番上の級になれるテストでした。スイミングがある日は、一生懸命練習をしたつもりでしたが、テストでは、ターンを失敗するなど、うまく泳ぐことができませんでした。テストが終わってから、「なんで、今までがんばってきた成果を出すことができないんだろう。」と悲しい気持ちになりました。同じ級でテストを受けた友達は、全てに對してうまく泳ぐことができていました。ぼくは、「友達のように上手く泳げたら良かったのに。」と、うらやましかったです。

次のスイミングの時に、「継続は力なり」という言葉に出会いました。スイミングスクールの先生は、簡単なことだけを継続するのではなく、難しいことを継続することも大切だと話されていました。ぼくが、友達のようにうまく泳げなかったのは、うまく泳げるように練習を継続することができなかったからです。ぼくはどこか、「細かいことは後におき、全体的な泳ぎだけを継続し続けられれば良い。」と思ってしまっていました。ですが、思い出してみると、友達は練習をする時も、全体的な泳ぎだけでなく、ターン、キックの練習のような細かいことも継続し、練習していました。友達がテストでうまく泳ぐことができたのは、どのような練習でも、継続し続けたからだと思いました。

ぼくも、友達のように、どのような練習でも継続し続け、本番にいいできるように人になりたいです。いつになっても継続し続けることを意識し、「継続は力なり」という言葉を、これからの座右の銘にしていきたいです。

大切にしたい言葉

領家 由里愛

私が座右の銘にしたい言葉は、「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」です。これは、小説家の井上靖さんが書いた言葉です。これは、努力する人は希望がたくさんあって、それに向かって努力をしている、ということが書いてある言葉です。

この言葉を選んだ理由は、努力をしていたら、全てとは限らないけど、少しでもできるようになるということが書いてあったからです。

私は、勉強や宿題が苦手です。家で宿題をがんばっているつもりではあるけれど、丸付けをしたら全然合っていない。先生に当てられても、自分に自信がもてません。でも、私のお友達は、勉強ができて、テストでもみんな良い点数を取れています。「私も、勉強がほしい。」とみんながうらやましかったです。その時、井上靖さんの「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」に出会いました。私が勉強が出来ていなかったのは、自分に自信がもてるまで、しっかり勉強をしていなかったからだと分かりました。私には、「もう勉強はした。」という甘い考えがあったことが分かりました。思い出してみても、少し勉強をしたただけで満足していました。友達がテストで良い点数を取っていたのは、たくさんの努力があったことが分かりました。勉強をしないで友達をうらやましいと思った自分が、恥ずかしくなりました。

私も、井上靖さんのように、積み重ねてテストにいいような人になりたいです。中学生や高校生になっても、この言葉を大切にがんばります。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」を、これからも座右の銘にしたいです。



六年四組

青少年読書感想文 宮崎県 佳作

ぶつかる正義

木下 和馬

原爆や戦争、平和について考えることが多くなる夏休み、今年は東京オリンピックがあったこともあり、世界中の平和について家族で話す機会が多かった。僕の家では時々ニュースを見ながら、時事問題について自分の意見を聞かれる。難しい事ばかりだ。正直、僕に話をふらないでほしいと思うこともある。僕が持ち得る知識や情報は、両親のそれに比べてあまりにも少ない。知らない言葉は辞書で引き、情報を集めたいときはインターネットを活用して調べる。一苦勞だ。やっとのことで自分なりの意見をまとめて伝えると、

「なるほど。そういう考えもあるね。お父さん（お母さん）はこんな風に思うんだけどどうかな？」

いつもこんな感じで質問はエンドレスだ。そんな中で手に取った本。「サン・ドイッチクラブ」を読んで、平和的解決だと思った。双方の願いのために争う場面。根本的の部分は戦争と大差ない気がする。ただ、問題を解決するために権力や武力ではなく砂像の作成で勝敗を決めている点で大きく違う。主張が折り合わないから争いが生まれる。今この瞬間にも世界のどこかで生まれている争いの火種は、主張が対立することによってくすぶり出

す。僕が不思議に思うのは、利己的な考え方以外の正義は人によって違うし、みんなが正しいという点だ。矛盾していそうだが、いろいろな角度から問題を掘り下げて考えると多くの場面に二つの正義がぶつかっている。しかもそれは、それぞれの立場に立って考えてみるとどちらも正しいと思えることがほとんどだ。僕は基本的に友人と争うことはしない。これまで何か問題があったとしても話し合ったり、譲り合ったりして解決してきた。クラスで何かあった時は、担任の先生が解決への道まで導いてくださった。そもそも相手を傷つけること自体が嫌だし、ただ単に僕は友人や担任の先生方にめぐまれているということなのだろう。だから平和的に解決できている。国同士の争いとはスケールが違いすぎるが、

「戦争だって始まる前に何か平和的解決ができれば良いのに。」

と、思わずにはいられない。多くの人が傷つき、悲しみの連鎖を生む戦争。結局は二つの正義がぶつかって始まっている。

僕はこの本を読んで、争いについて考えてばかりの夏休みだ。アフガニスタンの問題もあり、世界の争いがなく平和になる未来が来るのかという、とうてい僕だけでは正解を出せないことをグルグル考えている。

「正解を出すことよりも考えることに意義がある。」

と母は言う。今度は僕から、

「戦争と平和。ぶつかる正義について話したい。」
と両親に言おうと思う。



国語 「大切にしたい言葉」

残し続けたい言葉

竹之下 大和

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「為せば成る、為さねばならぬ何事も」だ。これは、上杉鷹山の言葉で、「できずともないことでも、その気になってやり通せばできる」という意味だそうだ。

ぼくがこの言葉を選んだのは、持久走大会などあきらめず最後までやれば達成感があると思ったからだ。

五年生の持久走大会の練習の時、とちゅうであきらめて歩いた。その時とても悔しかった。だから残りの練習を大事にして、最後まであきらめずにがんばって走ろうとした。すると、本番では、止まることなく最後まで走り切ることができた。この出来事にぴったりの言葉はないかと探していたら、この「為せば成る、為さねばならぬ何事も。」という言葉に出会った。

さらに、この言葉を知ってからは、苦手な料理で包丁を少し使えるようになった。火を使った料理をするのも苦手だったけれど、家で少しずつ練習をして、できるようになってきた。

大事なことは、最後まであきらめないということ。今までの自分はゆるい気持ちをもっていたからできなかったのだということに気付いた。少しでもやりとげたいという気持ちをもてば、最後までがんばれるということも分かった。

そして、今年の持久走大会もこの言葉を心の中で何度も言って最後まで止まることなく走ることができた。ゴールの近くまでいくと、いろいろな人たちが応援してくれていた。その時にぼくは、最後まであきらめないで走り切って良かったと思うすごくうれしかった。

これからは、「どつでもいいや。」と思う前に、何事も最後まであきらめずにやりとげようと思う。あきらめる気持ちは何もよいことがないからだ。「為せば成る、為さねばならぬ何事も。」これを、ぼくの座右の銘にして何事もあきらめずにいろんなことに挑戦したい。

ぼくの大切にしている言葉

田中 魁晟

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「努力すれば報われるのではなく、報われるまで努力するんだ。」だ。これは、サッカー選手のリオネルメッシの言葉で、「目標を実現するために、心や身体を使ってつとめる。」という意味だそうだ。

ぼくがこの言葉を選んだのは、サッカーの試合で負けて悔しい思いをしても、努力をしない自分や、だらけたりする自分を変えたいと思ったからだ。

この前、大事なサッカーの大会で、自分がマークしている相手をはなして点を決められたり、相手がドリブルをしていて自分が一番近いのに寄せていなかったりしている自分が情けなかった。

さらに、別の大会では、格上の相手に勝って、次の試合では気がゆるん

でいて、格下の相手だからといって油断していて一点決められてしまった。勝てた試合なのに、自分の油断から悪い流れを作ってしまった、結局負けてしまった。

最近、自分なんかが試合に出ていいのかと疑問に思うことがあった。がんばっても試合に出られない人もいるのに、ぼくはそんなことをこれまで一回も考えたことがなかった。そんな人たちの代表として試合に出ているのだから、チームのはじにならないようなプレーをしないといけないと初めて思った。そんなときに「努力すれば報われるんじゃない。報われるまで努力するんだ。」という言葉に出会った。

これからは、何事にも努力を積み重ねていきたい。二度と悔しい思いをしたくないからだ。「努力すれば報われるんじゃない。報われるまで努力するんだ。」この言葉を座右の銘にして、これから生かしていきたい。

大切にしたい言葉

梶田 心

わたしが座右の銘にしたい言葉は、「終わりがこわければ何もできない。」だ。これは、わたしの母の言葉で、「結果なんて気にしないでやるべき。」という意味だそうだ。

わたしがこの言葉を選んだのは、いろいろなことになやんでいる時期に母が言ってくれてうれしかったからだ。

この前、なやんでいたことを母に相談した。そうしたら、「終わりがこわければ何もできないよ。」と言われた。なやんで結果も出ていないのにすべ

に後のことを考え何もできない、そんな自分がいやだった。

さらに、勝手に考えて、勝手になやむ自分や、毎日考え事をしている自分、考えてはへこんでいる自分、そんな自分がいやだった。「何で、行動する前から結果を気にしてなやんでしまうのだろう。」と思ってばかりいた。悲しい気持ちでいるときに、母から言われた言葉を思い出した。

毎日、毎日、何かを恐れているのはなぜか。それは結果がこわいからだということに気付かせてもらった。母も同じような経験があったからこそ、この言葉を言ってくれたのかなと思った。この言葉を知ってから、結果が出るのがこわくて何もできないときに思い出すようにしている。

これからは、結果なんて気にしないで、どんどんいろんなことにチャレンジして前に進んでいきたいと思う。「終わりがこわければ何もできない」この言葉を座右の銘にして、結果を気にせず挑戦して生きたい。

自分が大切にしたい言葉

坂元 結羽

わたしが座右の銘にしたい言葉は、「過去に生きるな、今に生きろ。」だ。これは、松下幸之助の言葉で、「どんなに悔いても過去は変わらない、どれほど心配したところで、未来もどうなるものでもない、いま現在に最善をつくすこと。」という意味だそうだ。

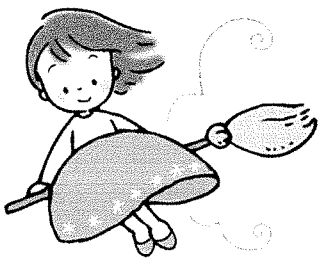
わたしがこの言葉を選んだのは、自分がやりたくないこと、失敗しそうなことをずっと考えて、今しなければいけないことに集中できない自分を変えたいと思ったからだ。

この前、授業で発表をしなければいけないことがあった。そのとき、わたしは「いやだな、みんなに褒められないかな」とばかり考えていた。そして、人が発表しているとき、大事なことを聞きのがしてしまうということがあった。さらに、自分が発表する番になると、「ここをどうやって話そうか、みんなにきちんと伝えられるかな」とばかり考え、初めから伝えようとしていたことではなく、思ってもいないことを言ってしまった。後で自分が言ったことを振り返ったときに、「何でこんなことを言ったのだろう。みんなに褒められたかも」と、後悔ばかりしていた。そんなときにこの「過去にいきるな今に生きろ」という言葉に出会った。

どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。いま現在に最善を尽くすことが大切だということに、この言葉に出会い分かった。いま現在に最善を尽くすことで、自分の伝えたいことを伝えられるようになりたいと思った。

この言葉を知ってから、少しだけ、いま現在に最善を尽くすことができ、自分の思っていたことを伝えられてよかったと思うことが増えた。

これからは、「過去に生きるな今に生きろ」の通り、まずは、これまでのことを気にせず自分の思いを周りに伝えられるようにしたい。その小さなことから大きなことにつなげていこうと思う。



大切にしたい言葉

南崎 友希

ぼくが座右の銘にしたい言葉は、「継続は力なり。」だ。これはプロ野球選手のイチロー選手の言葉で、「どんなことも続けていくことが成功につながる。」という意味だそうだ。

ぼくがこの言葉を選んだのは、ぼくはすべてに物事をあきらめてしまつてがあるので、何事もあきらめずに続けてみようと思ったからだ。

ぼくは、二年生の時、鉄棒の逆上がりができなくて何度もあきらめそうになった。けれど、この言葉を思い出し、毎日公園に行って練習したことで、逆上がりができるようになった。ぼくは、「何事も続けていればできるようになる」ということを実感した。

さらに、水泳をしていた時、毎週クロールの練習をしていたことで、水泳大会で二位になることができた。一位は取れなかったけれど、ぼくは努力が結果になったことにとても喜びを感じた。

少しの努力と根気強さで成功につなげることができると思えば、自分やると決めたことはすぐに諦めずに続けてみようと思えるようになった。

これからは、何事もすぐにあきらめずに続けてみようと思う。そうすることで、成功につなげることができると思う。継続は力なり。「」を座右の銘にして、やると決めたことは結果が出るまで続けてみたい。

